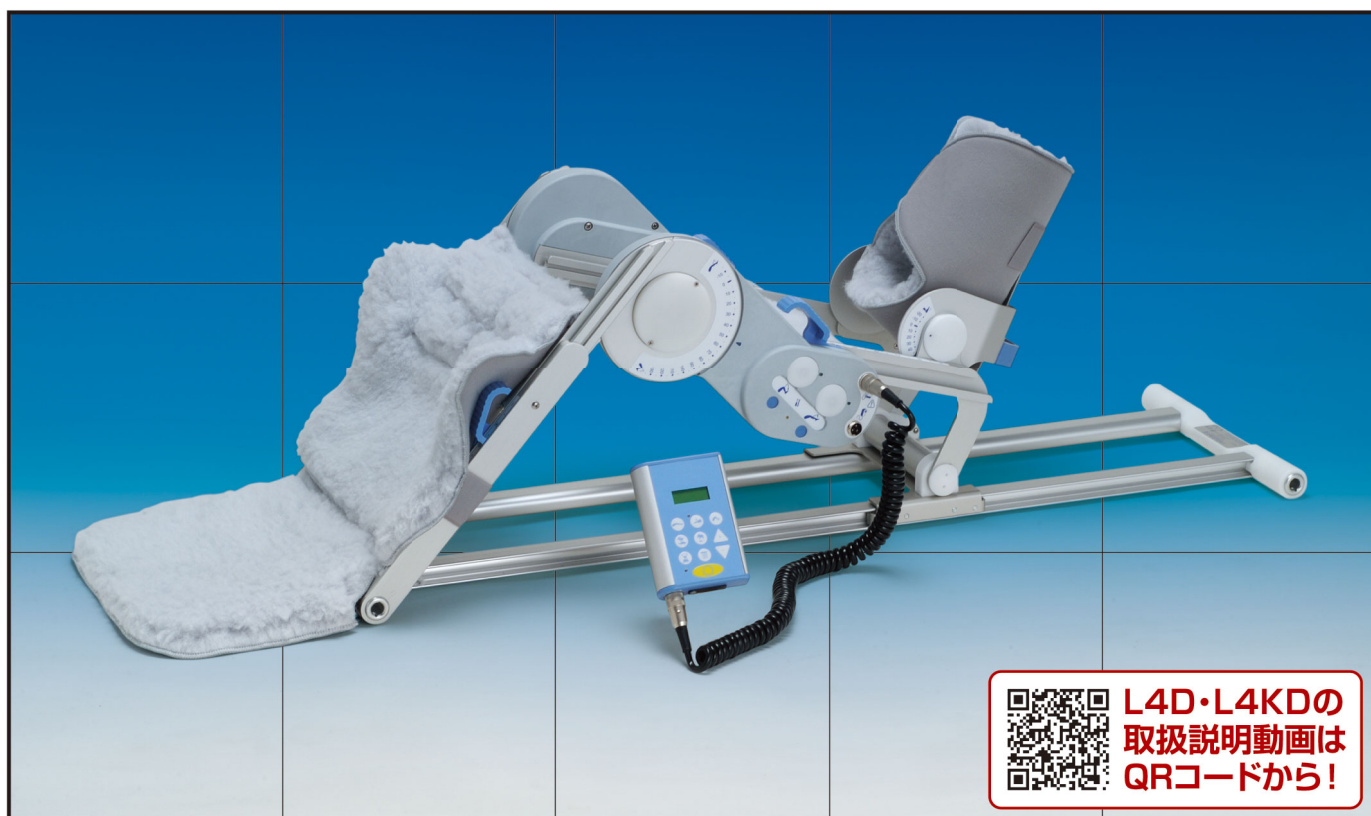


L4D

CPM Unit Leg/L4D

CPMユニット レッグ用/L4D

医療従事者からのご要望を反映した機能を搭載！
ヒップ、ニー、アングルが同時に連動する L4D



QRコードから！
L4D・L4KDの
取扱説明動画は
QRコードから！

ベース部分をアルミフレームにして軽量化と安定性を両立

- 設定機能を全て集約したデジタルコントローラー
- ウォームアップ機能搭載
- タイマー機能搭載
- 軽量、10.9kg
- 静音設計
- 広いスピードレンジ
30° / min ~ 210° / min
- 小児から成人まで広い適応身長
・123cm ~ 195cm
- 広い可動域
 - ・ 4° ~ 100° (ヒップ)
 - ・ -10° ~ 135° (ニー)
 - ・ -25° ~ 45° (アングル)
- ヒップ、ニーと同時にアングルも連動可能
- 両サイドの高精度アングルセンサーが行う二重のアングルチェックで常に正確なアングル設定
- アングル調整を確認できる膝部と足関節部のゴニオメーター
- リバースオンロード / 安全機構
- 屈曲、伸張がスムーズ

L4D

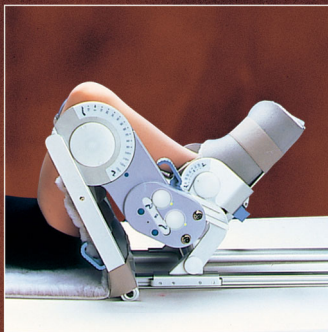
CPMユニット/レッグ用



L4Dのデジタルコントローラは、これひとつでROM、スピード、リバースオンロードの負荷調節、休止時間、ウォームアップ、タイマーを設定できます。



オプション・ペイシェント・メモリは患者の設定を記憶します。他のL4D、L4KDユニットに装着しても使用できます。タグに患者名、IDを書いてご使用ください。



膝の可動範囲 $-10^{\circ} \sim 135^{\circ}$

アプリケーション

CPMユニットは一般的に手術完了後から持続的に1週間以上使用します。(使用方法、期間については主治医の処方に従ってください。)

エクスペクティッド・クリニカルアドバンテージ

1. ROMの確保
2. 関節内癒着の回避
3. 関節外拘縮の回避
4. 術後の腫張、痛みの減少

適応症例

指示されている場合には、以下の後に手術直後の管理が必要です。

1. 関節内骨折の開放整復と内固定。
2. 骨端と骨幹部骨折の開放整復と内固定
3. 外傷性関節症に伴う可動域制限の場合の
Capsulotomy (切嚢法) と Arthrolysis (関節剥離術)
4. 慢性関節リウマチと血友病性関節症に伴う Synovectomy (滑膜切除術)
5. 急性化膿性関節症の Arthrotomy (関節切除術) とドレナージ
6. 関節外拘縮又は癒着のマニピュレーション後
例: Quadricepsplasty (大腿四頭筋形成術)
7. 大腿骨、脛骨の骨幹端骨切り術の内固定
8. 関節置換形成術
9. 膝、内側側副靭帯損傷形成の半腱様筋腱固定術。

禁忌

- ・術後感染が見られるとき
- ・強固な内固定が施されていない骨折
- ・DVTであることが判明しているか疑わしい場合

注: 高熱、過敏、脹れ、出血、あるいは痛みの増大や持続など、感染症の兆候がある場合には、感染症が治まるまで、CPMの使用を中止してください。

仕様

縦: 106cm
横: 33cm
重さ: 10.9kg

パフォーマンス (ROM)

ヒップ: $4^{\circ} \sim 100^{\circ}$
ニー: $-10^{\circ} \sim 135^{\circ}$
アングル: $-25^{\circ} \sim 45^{\circ}$
スピード: $30^{\circ}/\text{min} \sim 210^{\circ}/\text{min}$
適応身長: 123cm \sim 195cm

定格電圧

インプット: 100V/50, 60Hz
アウトプット: DC 12V (パワーサプライ)
消費電力: 60VA

カタログNo.

L4D-100	CPMユニットレッグ用 L4D
L4-101	L4D用ソフトグッズ
GE-2102/3 14157.PSE	} パワーサプライ
L4D-103	
GE-107	ペイシェントメモリ



その他にもレールを取り除きコンパクトさを追及したL4KDもあります。

認証番号: 223ADBZX00135000

アメリカ/ZIEN Medical Technologies社製

本カタログに掲載の仕様、形状は、改良などの理由により予告なしに変更することがあります。

 GADELIUS

ガデリウス・メディカル株式会社

- | | | | |
|---------------|---------------------------------------|------------------|------------------|
| ■ 東京本社 | 〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-1 青山安田ビル4F | Tel:03-5414-8753 | Fax:03-5414-8756 |
| ■ 神戸支店 | 〒650-0001 神戸市中央区加納町4-4-17 ニッセイ三宮ビル15F | Tel:078-331-6673 | Fax:078-331-6642 |
| ■ 神戸テクニカルセンター | 〒654-0027 神戸市須磨区千歳町3-4-6 ナショナルビル2F | Tel:078-331-6627 | Fax:078-739-6648 |